

日 時 平成 18 年 1 月 13 日 (金) 10 : 00 ~ 18 : 20

場 所 県民会館

出席者 (委員) 松本 (誠)、奥西、川谷、畑、村岡、長峯、加藤、佐々木、中川
浅見、伊藤、草薙、酒井、土谷、山仲
(河川管理者) 田中、渡邊、松本、前川、西村、合田
(農林水産部) 福田、鶴崎 (公園緑地課) 橘 (公園都市整備課) 松村
(事務局) 黒田、前田、植田、木本

内 容 (協議結果)

1 流域対策の検討

(1) 各対策の整理

第 17 回総合治水ワーキングチームに引き続き、「武庫川総合治水・流域対策の活用可能性一覧」の各対策について、次のとおり整理 (「基本方針盛り込み」及び「基本高水対応」の仕分け等) を行った。

「公園」、「学校」については、「基本方針盛り込み」とするが、「基本高水対応」の数値化については、1) オンサイト貯留とする、2) オリフィスによる操作はないものとする により算出し直した効果量を確認したうえで比較検討する。

「防災調整池」については、「基本方針盛り込み」とするが、「基本高水対応」の数値化については、整備に必要な費用等を検討したうえで、あらためて検討する。

「各戸貯留」については、「基本方針盛り込み」とするが、「基本高水対応」については、他の数値化が困難な対策とあわせて別途整理する。

「遊水地」については、1) 大規模洪水の際に内水や河川から溢れた水が一時的に溜まり結果として遊水機能持つ上・中流農地等 2) 主に中・下流の公共施設、都市施設に遊水機能をもたせるもの 3) 用地買収、地役権設定等により河川施設として整備するもの の 3 つに区分のうえで、今後さらに検討していくこととする。

(2) 流域対策の骨格案

各流域対策の活用可能性を次のとおり整理し、流域対策の骨格案として次回流域委員会に提案する。

各対策の「整備計画盛り込み」及び「整備計画数値化」の整理については、それぞれ「基本方針盛り込み」及び「基本高水対応」に準じて行う。

「森林」と「利水ダム」及び「遊水地 (3 区分)」は、他の対策とは別枠で整理する。

各対策の検討状況等については、松本主査がこれまでの総合治水ワーキングチーム会議での意見をふまえて骨子を作成する。

2 その他

(1) 次回会議の協議事項

河川整備計画の検討
流域対策の検討 (遊水地、数値化等)
河川対策の検討 (継続)

(2) 今後の日程 (開催日時)

第 19 回 1 月 20 日 (金) 17 : 30 ~
第 20 回 1 月 26 日 (木) 13 : 30 ~ 17 : 00
第 21 回 2 月 1 日 (水) 13 : 30 ~
第 22 回 2 月 8 日 (水) 13 : 30 ~